

# WEEKLY REPORT

る・コミュニティとしてのロータリーのイメージはそのような感じです。

ロータリーは家族と比べるとつながりの弱いコミュニティです。当たり前です。家族のように血で結ばれている訳ではないからです。でもクラブに対し『家族』のような愛着と帰属意識を持つことはできると信じています。

会長は家族に例えるならオヤジです。なんとオヤジが毎年変わります。こんなにいろんな人が集まり、毎年オヤジが変わり、もしオヤジが好き放題やったら、クラブはバラバラになります。だからクラブには『目標』となる中長期の計画が必要です。そしてオヤジが変わっても変わらない『目的』が必要です。その『目的』の一つこそが、全員のクラブへの『愛着』と『帰属意識』を育てていくことではないでしょうか。誰がオヤジになっても、クラブ運営がうまく行くようにしなければなりません。会長次第にならない、『家族』のようなブレない組織力こそが、クラブの魅力と強さになるはず。そのためには何が必要でしょうか。私は会員一人一人に『役割』が与えられることだと考えています。全員に役割が与えられ、全員が責任を果たし、クラブに貢献し、地域に貢献できることで、成功体験や喜びを積み重ねていくことが大切です。自分が貢献できていると感じられることで、クラブ内に自分の居場所を見つけることもできます。そうすれば、自分とクラブとの距離は自然と近くなり、居心地の良い場所になっていくはず。その結果、クラブに対し愛着が湧き、帰属意識が芽生え、『家族』のようなクラブに育っていくのではないかと考えます。私は自分のクラブを誇りに思っしてほしいとは考えていません。もちろん誇りに思えるクラブで在りたいと思っています。でも、まずは皆さんに自分のクラブに『家族』のような愛着を持ってほしいと願っています。これはマストです。次年度、私は変わったことは致しません。全員に役割を担っていただき、皆様と共に奉仕、親睦、増強にしっかりと取り組んでいきたいと思っております。そして『家族』のような愛着と帰属意識で結ばれたクラブを目指してまいります。そのためには、会員の皆様全員のご協力が不可欠です。様々な役割をお願いする場面も出てくると思いますが、何卒よろしくご協力申し上げます。

## <諸事お祝い・ニコニコ委員会>

吉田俊一委員長



### ★会員誕生日★

小澤直之会員 S43年3月11日  
誕生日のプレゼントありがとうございます。ロータリーに入会してこの3月で9年目になりました。年齢順だと上から22番目で、北クラブには21人の先輩が元気でがんばっているので、負けずに頑張ります。

### ★御婦人誕生日★

浅野久会員 3月1日 妻の誕生日の祝いありがとうございました。  
平野崇広会員 3月12日 妻の誕生日のお祝いありがとうございます。

### ★結婚記念日★

鈴木悦朗会員 S63年3月12日  
結婚記念日の花束ありがとうございます。おかげさまで昨日で36年目を迎えました。相変わらずケンカもしますが、なんとかやっています(^\_^) 今後ともよろしくご協力いたします。  
平田洋一会員 H11年3月24日 お祝いの花束ありがとうございます。次のステージに入りたいとおもいます。

おめでとうございます！

Rotary 2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

# 松戸北ロータリークラブ会報



## ロータリーの特別月間3月

### 水と衛生月間

2014年10月RI理事会は、重点分野である「水と衛生月間」である3月を、地域社会における安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善、持続可能な水設備と衛生設備の設置、資金調達、維持管理を地域住民が行っていくための能力向上、安全な水と衛生の重要性について、地域住民の認識を高めるためのプログラム支援、水と衛生に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間としました。

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 60.6%

第2429回 例会 2024年 03月13日(水)

- 国際ロータリー会長 ゴードンR. マッキナリー
- 第2790地区ガバナー 鶴沢 和広
- 第13Gガバナー補佐 鈴木 悦朗
- 松戸北ロータリークラブ会長 小澤 直之
- 松戸北ロータリークラブ幹事 高橋 一彦
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30)
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイイツ101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

# WEEKLY REPORT

## <第2429回 例会プログラム>

司会 大川高明会員

12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】	小澤直之会長
12:33	お客様紹介	柳孝実会長エレクト
12:35	会食	
13:00	例会再開 会長挨拶・報告 幹事報告	小澤直之会長 高橋一彦幹事
13:05	次年度にむけて	
13:25	【委員会報告】 出席親睦委員会 本日の出席率発表 社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	平野崇広委員 大塚精一委員長 吉田俊一委員長
13:30	4つのテスト 点鐘	小澤直之会長



## <会長挨拶>

## 小澤直之会長

3月の月間テーマである「水と衛生」についてお話しさせていただきます。今月のガバナー月信の鶴沢ガバナーの言葉が以下のように掲載されていました。「能登半島では地震後1か月後も多くの場所で断水が続いています。蛇口を捻ればきれいな水が出るのが当たり前の日本にとって、水の大切さを再認識させられる事態に直面しています。アフリカや東南アジアの国々の中ではまだまだ井戸の無い村もあり水汲みが日課になっており、たとえ井戸があっても飲料水には適さない場合も多くあります。日本人には理解出来ないような環境で水との戦いをしている人達が世界中に沢山います」と、こう述べています。



確かに、途上国の事を考えますとアフリカの貧しい子どもたちが片道2時間以上もかけて生活するための水を井戸に汲みに行っている映像をテレビで見ることがあります。先月お話しさせていただいた紛争の件と同様に、我々日本人からは他人事のように感じている人も少なくないと思います。地球規模で考えると、この地球は海と陸地の割合が7対3と言われていて大量の水があるように感じますが、地球上に存在する水のほとんどは海水です。人類が生活や農業、工業に利用することができる淡水は全体のたった2.5%で、残りは塩が混じっている海水のため、このままの状態では資源として利用することは不可能です。しかもこの2.5%の淡水のうち南極や氷河そして地下水を除くと人類が取水しやすい淡水はわずか0.01%のみしかありません。人間が利用できる水も均等にあるわけではなく恵まれた地域とそうでない地域の格差も大きくて、世界中で水道水を安全に飲める国は日本を含めわずか15か国しかないと言われています。そもそも基本的に水資源が乏しい国、安全な水道水を作ることが技術的に難しい国などが世界のほとんどを占めます。そのため水道水をそのまま飲むことができる日本は非常に恵まれていると思います。

ただ日本の水処理技術は世界で非常に注目されています。そして水問題を解決するために日本の水処理技術が活かされている実績もあり、その技術には2種類あるそうです。

- ①まずは海水淡水化技術と言って、名前の通り海水を真水にする技術です。日本メーカーの得意分野で日本メーカーが世界シェアの50%を占めています。海水を淡水化する技術であるため海に面している国ならば導入できるというメリットがあります。
- ②続いては生物浄化法と言って、自然界に生息している微生物の浄化作用を利用して浄水を行う手法です。砂などの大きなゴミは過して取り除き、小さな有機物のゴミは微生物に食べてもらうというやり方です。こちらは貧困で高価な浄水施設を建設できない発展途上国を中心に人気があるそうです。

# WEEKLY REPORT

このように日本の高いレベルの浄水技術が、今後も世界中で活躍して水と衛生の問題も少しずつでも改善されることを期待します。また遡ること7～8年前、勝浦RCが海外のクラブとコラボして4クラブ合同で、スリランカのある地域の村や学校に対し浄水設備を建設したそうです。これはグローバル補助金を利用した井戸水の水質改善のプロジェクトとして名を残し、実行後に6200人ほどの現地の人達へ清潔な水の供給に成功した事も聞きました。北クラブでも、ここまで大きなプロジェクトとまでいなくても、将来的に何か国際的な奉仕活動に挑めればと思います。

## <幹事報告>

## 高橋一彦幹事

市原ロータリークラブより  
「創立60周年記念式典・記念講演・祝賀会開催のご案内」が届いております。



日時：2024年6月13日  
登録受付 14時00分～ 登録料：お一人 ¥15,000 -  
式典 15時00分～  
記念講演 16時00分～16時40分  
講師 白鳥政孝PG 「市原ロータリークラブ回顧録」  
祝賀会 17時00分～18時30分  
会場：京成ホテルミラマーレ 千葉市中央区千葉町15-1  
043-222-2111 (代表)

申込期限が4月10日となりますので、ご縁のある会員はじめ参加をご希望の会員は松戸北ロータリークラブ事務局までお申し付け下さい。

## <次年度に向けて>

## 柳孝実会長エレクト

今日はどういう組織にしたいかという想いを述べさせていただきます。次年度、柳・関年度は、クラブテーマに『家族』を掲げたいと思います。私の持つ『家族』という言葉のイメージは、次の通りです。



自分の居場所・自分のルーツ・家としての強い帰属意識・切りたくても切れない関係・固い絆・命が宿った瞬間から、死後まで続く関係・無償の愛・見返りを求めない・全てが他人事ではなく自分事・唯一無二・変わりが効かない・他人ではなく身内・運任せで選べない・子は親を選ばず、親は子を選ばない  
社会における最小の環境であり、産まれた子供に大きな影響を与える・社会における最小で最強のコミュニティ・全員に役割があり、全員に責任がある・全員に権利があり、全員に義務がある  
たまたまその家に生まれただけで、良いことばかりではないはずなのに、自然と帰属意識が芽生え、強い絆で結ばれる  
それが私の持つ家族のイメージです。

ロータリーはどうでしょう。

私の持つロータリーというコミュニティのイメージは、次の通りです。  
大人になってからも友達と出会える・血で結ばれていない・想いで結ばれている・目的を掲げその目的の下に団結している・奉仕活動と親睦活動により苦楽を共にし、結ばれている・もし目的が失われればバラバラになる・縁を切りたければ退会することもできる・家族よりも大きなコミュニティなので色々な人がいる・気の合う人もいれば、合わない人もいる・気の合わない人とは付き合わないこともできる・最近ようやく女性会員が増えてきた・女性会員を増やせるか、女性から受け入れられるコミュニティなのか、今試されている。

会報・広報委員会 平野崇弘・岡本真理子・小椋伸也・渋谷剛士・佐久間音弥  
本日の社会奉仕基金 2,174円